

God-given sovereignty を求めるプーチンと God-swindling thugs の対立

「神から与えられた主権」を要求するプーチンと「神から神の賜物を騙し取ろうとする悪党ども」の対立

Greatchain

May 9, 2023

今しがた、おそらく（偶然かもしれないが）私の書いた先日の「政府と NHK を含む主流メディアの方々への公開質問」に反応して、Sputnik 日本が、「トランプ氏がウクライナ領の分割を提案、米メディアは発言をカット」という記事を書ってくれたので、先日言おうとしたことを、もっとはっきり説明しよう。



トランプは「アメリカは、New World Order Globalists に対し、最終戦争で報復し滅ぼすことを宣言する」と言った。この「NWO グローバリスト」（いろんな言い方がある）とは、数十年にわたって、アメリカのみならず世界全体を、もっぱら私欲のために、徹底的に苦しめ痛めつけてきた特定の悪党どものことである。彼らは、世界を牛耳る財力を持ち、きわめて偽善的で、プロパガンダの技術に長けた秘密組織なので、あたかも皇族か何かのように錯覚されている。彼らは、配下の CIA を通じて、ひそかに世界のメディアを支配しており、したがってメディアは、そんなものは存在しないと常に言い続けている。

トランプはこの悪党どもに対し、ついに宣戦を布告した。

私は「公開質問」の中で、現在、世界の二つに分けているのは、「正義を選ぶか、利益を選ぶか」の問題だと言った。本当は、悪党どもを倒すか否かの問題なのだが、一般にはそんな言い方は過激なように思われるので、「利益」だと言った。どこからともなく利益が湧いてくるので、そちらを選ぶ人が多いということである。

プーチン大統領の演説は、一字一句が正確で冷静で、聞く人を納得させるものであることは前に言ったが、その趣旨は大まかに言えば、もうアメリカという国の一極集中（覇権主義とか「アメリカ例外主義」とかいう）の時代ではなくなった、世界の主権国家がそれぞれ独自の生き方を求めて、助け合って生きる時代だ、ということである。この「主権」sovereignty という言葉がきわめて重要である。

プーチンはここで、God-given sovereignty (神から与えられた主権) という言葉を使っている。なぜか？ それは我々は、神を抜きにして「主権」という概念はありえないからである。我々は神を抜きにして生きることはできない。我々自身を含め、この世界はすべて神から授かったものである。「主権」は自立を意味するが、その自立性は自分のものでなく、神からの借り物で、したがって神に対する責任が生ずる。

そして更に重要なことは、「NWO グローバリスト」はそのことをよく知っているということである。彼らは自分たちが、「神から神の賜物を騙し取ろうとしている」ことをよく知っている。(God-swindling thugs という英語は私のもので、プーチンやトランプのものではない。)

このことをよく示しているのは、11年前の2012年のロンドン・パラリンピックの演じ物である。(これだけ重要なことなのに、気づいている人はまれだ。) これについては何度もここで論じたが、この演じ物の中心は神の主権を強奪することであり、神への賛歌というべきシェークスピア劇『テンペスト』を換骨奪胎している。「篡奪」という言葉はちょっと難しいが、『テンペスト』は、王位の篡奪者、つまり正当な主権を奪う者と、これを奪われた者の物語で、この劇では、長く王位を奪われていた兄王が、奪った弟から主権を取り戻すが、この兄は実は魔法使いであり、すべては幻として見せられたものだった。これは世界を根底で動かしている神と、それを知らず、自分の力で生きていると思っている者の物語で、現在の世界の混乱の原因が、まさにそういうものである。シェークスピアはこれを最後に筆を折った。

しかしロンドン・パラでは、この王や、世界で最も美しい彼の娘ミランダが、神への復讐であるかのように、わざと粗末なヘアスタイルと、パジャマのような恰好で登場し、わざと醜い身障者を登場させ、最後には、あの車椅子の宇宙学者スティーヴン・ホーキングを

登場させ、あの機械的な神がかった声で「科学」の勝利（すなわち神の敗北）を宣言するように演出されていた。

これは現在起こっていることでもある。「世界経済フォーラム」のクラウス・シュワブは、先日、AI技術を極限にまで発達させれば、我々は世界を征服して、神を追い出すことができると言った。

莫大なカネをかけたと言われる、イルミナティ主催のロンドン・パラは、神への呪詛に満ちみちており、言うべきことがまだ沢山ある。

いったい事実を曲げてまで、プーチン大統領を悪者にしたい人々は、何をどうしたいのか？プーチンとトランプは、悪の根源である New World Order Globalists を倒すために、すなわち神と人間に対する共通の敵を倒すために、共同戦線を張っているのである。プーチンは世界を征服などしない。実はもっと大きなことを考えている。プーチンにしてもトランプにしても NWO は「宿敵」である。その宿敵の「向こうを張って」戦うなどという馬鹿なことはしない。それをそうであるかのように言いふらす者たちこそ、NWO の回し者である。ゼレンスキーのウクライナ軍についても、真実はどうなのか、もう少し調べていただきたい。あまりにも浅はかで恥ずかしい、宣伝に乗るような振舞いはやめるべきである。